

ひょうごへリテージ機構H²O

代表者	沢田 伸
所在地	〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-6-11 (社)兵庫県建築士会へリテージ委員会
設立年月日	2003年6月5日
URL	http://www.hyogo-heritage.org/

【設立趣旨】

ひょうごへリテージ機構H²Oは、兵庫県へリテージマネージャー養成講習会の受講生を中心とした開放型ネットワークです。へリテージマネージャーとは「地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用してまちづくりに貢献する人材」のことで、人材養成については、2002年1月全国に先駆けて兵庫県教育委員会と(社)兵庫県建築士会が連携して兵庫県へリテージマネージャー養成講習会を開始し、現在は第8期目を迎えています。ひょうごへリテージ機構H²Oは、循環型社会における建築のあり方を見据え、歴史文化遺産の活用を図ることによって地域固有の風景の回復や誇りのもてるまちづくりに貢献することを目的としています。

【沿革】

2003年6月、第1回へリテージマネージャー大会を開催し、兵庫県へリテージマネージャー養成講習会受講者を中心とするネットワークを立ち上げ、兵庫県近代化遺産総合調査に取り組みました。2004年6月の第2回へリテージマネージャー大会において、受講生以外の一般の方も加えた開放型ネットワークとして「ひょうごへリテージ機構H²O」と呼称することになり、現在に至っています。



酒蔵で行われた第6回へリテージマネージャー大会。

【活動目的】

- 登録文化財の登録推進による地域資産としての価値の共有
登録文化財は、建物所有者の保存への意思表示になるとともに、地域の財産としての価値を共有する契機となることから、積極的に文化財登録を推進していきます。
- 文化財建造物活用モデル事業による活用事例の蓄積
建物が生きつづけるためには、活用され続ける仕組みが必要です。文化財建造物活用モデル事業などを活用して地域の人々とともに活動しながら活用事例を蓄積していきます。
- 景観まちづくり行政との連携による地域固有の風景の保全と回復
文化財以外の建造物についても、地域の個性を構成する重要なものとして位置づけ、古民家分布調査や古民家再生促進事業をとおして、地域資産を活かした新しいライフスタイルを提案していきます。

【活動内容】

●登録文化財の推進
2003年以来、登録文化財調査・申請に着手しました。調査にあたっては複数のメンバーでチームを編成して、多角的に取り組むことを基本としています。登録件数は表1のように年々増加し、そのうちへリテージマネージャーによる登録件数は約200件となり、兵庫県内の登録文化財の半数を占めるようになりました。



モデル事業「竹灯籠が灯る伝建地区・篠山」

●文化財建造物活用モデル事業

2007年、篠山市において「竹灯籠が灯る伝建地区・篠山」というテーマで、武家屋敷の竹林整備と伐採した竹を使って灯籠をつくり古い町並みに竹灯籠を灯すイベントを実施しました。2008年、西宮市において、「登録文化財の安全活用のための耐震診断」をテーマに登録文化財の山本清記念会館を題材として、伝統木造構法にふさわしい診断と補強を学習し、耐震補強推進の筋道を探りました。また同年、三木市においても「日本文化大発見！ 見て、触れて、体験しよう！」をテーマに小河家別邸(登録文化財)を舞台に外国人留学生を対象とした地域再発見異文化交流事業を行いました。



モデル事業「登録文化財の安全活用のための耐震診断」



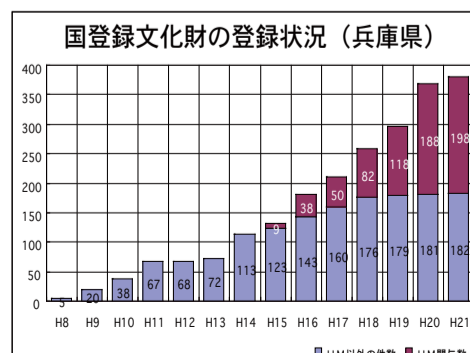
モデル事業「日本文化大発見！ 見て、触れて、体験しよう！」

●景観まちづくり行政との連携

中播磨地域古民家分布調査(2005年)、北播磨地域古民家分布調査(2006年)、景観資源・優良古民家発掘調査(2006年)などを景観まちづくり部局と連携して行い、2007年度から3ヶ年の県事業として、古民家所有者の相談に対し専門家を派遣する「古民家再生促進支援事業」が始まりました。この事業の受け皿となる事業の実施・発展を期して2009年「古民家再生部会」を設置し古民家再生市場の定着に向けて取り組んでいます。

【活動上の課題と今後の展望】

ひょうごへリテージ機構H²Oは、メンバーの自発的な問題提起に他のメンバーが呼応してチームを編成するという「この指とまれ！」方式を行動原則としています。メンバーの自発性とネットワークの総合力を活かした活動を今後も展開していきたいと思えます。文化財行政と景観まちづくり行政両方に軸足を置いて、建物所有者のメリットを図りつつ、地域の財産である歴史文化遺産の活用を推進していきます。



活動年表

年	活動内容
2002年	1月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第1期)開講 この頃から登録文化財調査への取り組み開始
2003年	8月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第2期)開講 3月 「高度なりカレント学習システムに関する調査研究」兵庫県へリテージマネージャー養成講習会実施報告書 発刊 6月 第1回へリテージマネージャー大会 兵庫県近代化遺産総合調査(第1次) 7月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第3期)開講 3月 「ひょうごへリテージ年報 第1集」発刊
2004年	6月 第2回へリテージマネージャー大会 ネットワークを「ひょうごへリテージ機構H ² O」と呼称することに決定 7月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第4期)開講 淡路島庄屋建築調査始まる 10月 旧乾邸活用応援倶楽部発足 11月 台風23号によるへリテージ被災状況調査
2005年	1-2月の年から、地区独自の活動が本格化 1月 国連防災世界会議 4月 「ひょうごへリテージ年報 第2集」発刊 6月 第3回へリテージマネージャー大会 ひょうごへリテージ機構H ² Oの規約制定とホームページ公開 7月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第5期)開講 但馬夢テーブル委員会「近代化遺産マップづくり」始まる(2ヶ年) 中播磨地域古民家分布調査
2006年	11月 古民家再生試行プロジェクト始まる(たんぼくみ) 3月 「ひょうごへリテージ年報 第3集」発刊 5月 アドバンスコース研修会①「登録文化財申請のための写真撮影」 6月 第4回へリテージマネージャー大会 北播磨地域古民家分布調査 景観資源・優良古民家発掘調査
2007年	3月 「ひょうごへリテージ年報 第4集」発刊 4月 伝統木造研修会①「鶴林寺」 5月 アドバンスコース研修会②「登録文化財申請のための所見作成」 6月 第5回へリテージマネージャー大会 7月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第6期)開講 古民家再生促進支援事業(県住宅計画課 3ヶ年)始まる 但馬夢テーブル委員会「但馬の民家探訪」始まる(2ヶ年) アドバンスコース研修会③「グッゲンハイム邸で学ぶ保存活用法」(全3回) 文化財建造物活用モデル事業「竹灯籠が灯る伝建地区・篠山」
2008年	1月 アドバンスコース研修会④「木と道具から木造建築を読む」(全2回) 出石まちなみ設計士会発足 6月 第6回へリテージマネージャー大会 7月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第7期)開講 重要文化財耐震性能調査 文化財建造物活用モデル事業 ・「登録文化財の安全活用のための耐震診断」 ・「日本文化大発見！見て、触れて、体験しよう！！」 アドバンスコース研修会⑤「伝統木造の耐震診断と構造補強」
2009年	12月 豊岡市庁舎活用シンポジウム(3回) 1月 古民家再生部会、講習部会発足 高砂市文化財総合把握モデル事業 6月 第6回へリテージマネージャー大会 7月 兵庫県へリテージマネージャー養成講習会(第8期)開講 古民家再生促進事業